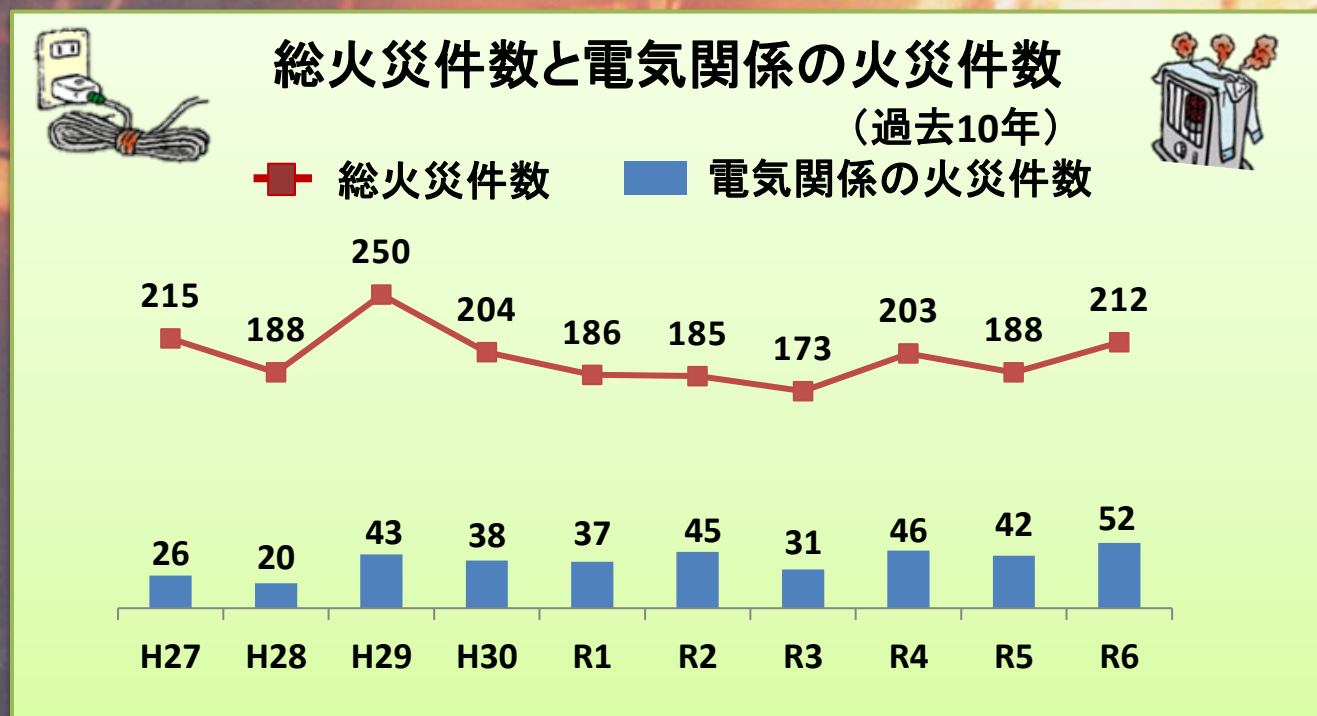
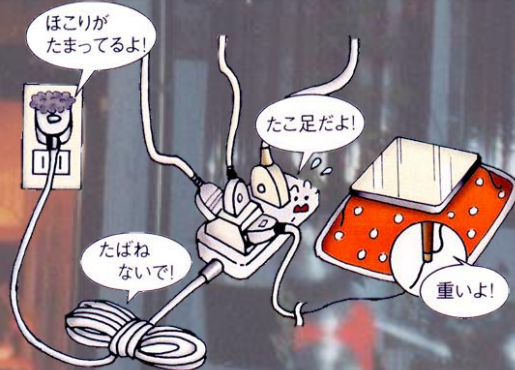


堺市消防局管内で発生した 火災の原因の約2割は 「電気関係」です！



電気製品から異常な音・振動・
臭い等を感じたら使用しない！
コンセントにほこりがたまらない
ようにし、変形したプラグは絶対に
使用しない！



電気コード・コンセント等からの出火が増えています！

トラッキング現象による火災事例

プラグとコンセントの間にほこりがたまり、湿気などにより水分を含むことで、通電状態となり、火災に至ることがあります。



【トラッキング現象の再現実験】

電気ストーブと衣類の接触による火災事例



地震発生時の火災を防ぐために・・・
感震ブレーカー を設置しましょう！



感震ブレーカーは、地震を感知すると同時にブレーカーを落として電気を遮断することで、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する通電火災を防ぎます。

感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。



【参考】経済産業省ホームページ 感震ブレーカーチラシ

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf